

令和 5 年度 港北区防災キャラバンの実施団体募集について

平成 18 年度から実施している防災出前講座「港北区防災キャラバン」は、15 年以上に渡って多くの自治会町内会様からお申込みをいただき、受講者の皆さまの防災に関する知識や意識向上にお役立ていただいております。

令和 4 年度からは、マンションならではの防災対策や、災害時の食事、トイレの問題など、生活に身近なテーマを追加し、受講者の皆さまから好評を声をいただきました。

今年度の「港北区防災キャラバン」も、新たなテーマとして「知的障害や自閉症のある人への支援」を加え、全 8 テーマをご用意のうえ実施いたします。

関東大震災の発生から 100 年の節目に、地域の皆さまの災害への備えを進めていただくため、お申込みのご検討をよろしくお願いいたします。

昨年度の受講者から寄せられたご感想



数値や事例でわかりやすく災害への準備を考える機会になりました。
（「発災時のトイレ問題」を受講）

災害への対策を家族で共有する大切さを感じました。
（「防災食」を受講）



講演を聞いて、防災情報をスマホで取得できるようにしました。
（「河川防災」を受講）

アンケートでは、受講者の 96%に「防災意識が高まった」と回答いただいています！



実施の様子

1 実施テーマ一覧

裏面一覧のとおり

2 申込方法

別添の「防災キャラバン申込書」に必要事項をご記入いただき、港北区役所総務課防災担当まで E メールまたは FAX でご送付ください（その他の方法でお申込みを希望される場合は、お電話にてご相談ください）。

3 申込期限及び実施期間

申込期間：令和 5 年 6 月 1 日（木）から 10 月 31 日（火）まで

実施期間：令和 5 年 12 月 20 日（水）まで

※実施に向けた調整期間を確保するため、実施予定日の 2 か月前を目安にお申し込みください。

※申込書の受理後、区役所が講師と日程等の調整を行い、実施の可否を決定します。

※実施決定後、講師、実施団体及び区役所の 3 者による事前調整・打ち合わせ（原則、土日祝日を除いた日に実施、オンライン応相談）を行います。

4 その他

- ・原則として先着順に実施の調整を行います。
- ・多数のお申込みがあった場合、申込期間中であっても予算の執行状況により申込の受付を終了する場合があります。
- ・講師の日程上の都合等により、実施のご希望に沿えない場合があります。
- ・その他、不明点等がございましたら、総務課防災担当までご連絡ください。

【テーマ一覧】

番号	テーマ	所要時間	概要	講師
1	知的障害や自閉症のある人への支援 《新規》	30分	災害時の知的障害や自閉症のある方向けの支援について当事者からの講義や、コミュニケーションボードの使用法説明等	セーフティネット プロジェクト横浜 (横浜市障害者支援センター)
2	崖防災	30分	崖地防災の基礎知識についての講義	横浜市建築局 建築防災課
3	河川防災	60分	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義	国土交通省 京浜河川事務所等
4	建築物の防災	60～90分	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義	一般社団法人 横浜市建築士事務所協会 ・ 横浜市建築局 建築防災課
5 ※	首都直下型地震や風水害を克服する防災まちづくり(リモート可)	60～120分	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等を講義・助言	防災士 元港北区内小学校校長 鷲山 龍太郎氏
6 ※	マンション防災	60～120分	マンション特有の防災対策について、実践的で具体的な対応方法を講義	マンション防災士 釜石 徹氏
7 ※	防災食	60～120分	災害に備えた食料のローリングストックや備蓄品のおいしい調理方法についての講義・体験	管理栄養士・防災士 災害食専門員 (株) オフィスRM 代表取締役 今泉 マユ子氏
⑧ ※	発災時のトイレ問題	60～120分	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義	(特非) 日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤氏

※ 5、6、7、8については、20名以上のご参加を目安に、お申し込みをお願い致します(連合単位での申し込みも可能)。また、会場の確保が難しい場合には、担当にご相談ください。

担当：港北区総務課防災担当
新井田、亀本、渡部
FAX:540-2209 (Tel:540-2206)
Eメール: ko-bousai@city.yokohama.jp

